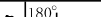




土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 県営須波住宅擁壁調査業務

事業名 または 工事名 県営須波住宅擁壁調査業務

調査目的及び調査対象 建築 盛土・埋立て盛土のり面

ボーリング名		B-3		調査位置		三原市須波ハイツ三丁目17				北緯		34° 20' 50.9"			
発注機関		広島県その他				調査期間		2023年 11月 1日 ~ 2023年 11月 2日				東経		133° 04' 28.2"	
調査業者名				主任技師		現場代理人		コ監定者		ボーリング責任者					
孔口標高		角 	方位 	地盤勾配 	使用機種	東邦地下工機D0-B									
総削孔長						7.00m		エンジン		YANMAR NFD-12		ポンプ		東邦BG-3B	

標 尺	高 度 (m)	深 度 (m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内位置試験	削 孔 月 日					
												深度-N値図				N 値	深 度 (m)	100mmごとの 打撃回数	打撃ごとの貫入量			50 回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料 番号	採取 方法
												0	100	200	300											
1				細粒分混り礫質砂	淡褐					岩砕盛土。 全体に著しく不均質で、含水少。 礫は長径0.6~3cm、最大6cm位。			12	1.15	3	4	5	12	300							
2	-1.80	2.00		細粒分質礫質砂						旧地盤と想定される。 全体に著しく不均質で、含水少。			15	1.45	2.15	4	5	6	15					300		
3	-2.70	2.90		粘板岩	暗灰褐					送水掘りで岩片~礫状コア主体。亀裂や数ミリ厚の層理が発達する。 コアは指正で崩せ、岩片もやや軟質。 軟岩I。D~CL級。			48	3.15	15	16	17	48	300							
4										43			4.15	13	14	16	43	300								
5	-5.30	5.50								150			5.15	50			50	100	100							
6				粘板岩	黒褐					ダイヤビットの送水バック掘りで、円柱状コアだが、バックを外すと短柱状コアとなる。コア表面は概ね平滑。 角度60度位で数ミリ厚の層理が発達する。 軟岩2~I。CM~CL級。RQD=0。			50	6.00	0			50	0							
7	-6.80	7.00								50			7.00	0			50	0								